

2020年1月10日

公益財団法人 笹川スポーツ財団

## トップリーグ開幕直前！ 「ラグビーワールドカップ2019の観戦行動と意識に関する調査」で トップリーグや新リーグへの期待の高さが明らかに

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する公益財団法人笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区 理事長：渡邊一利 以下：SSF）では、全国の18～79歳までの男女4000人を対象に「ラグビーワールドカップ2019の観戦行動と意識に関する調査」を、昨年末から年頭にかけて実施いたしました。このたび、トップリーグの開幕を前に、調査結果および考察を公表いたします。

ラグビーの盛り上がりが派生していく様子を見定めることは、今後、メガスポーツイベントが国内スポーツ活性化にいかにかに寄与しうるかを考えるうえで重要となるでしょう。

### 【主な調査結果】

- ラグビーワールドカップ2019日本大会（以下、RWC2019日本大会）の観戦率
  - 「テレビやインターネットのメディアでの中継で観た」が**58.3%**
  - 「試合会場で直接観た」が**2.2%**
  - 「(直接・間接を問わず、何らかのかたちで)試合を観た」が約**6割(59.0%)**
- RWC2019日本大会観戦者における、今後のラグビー観戦希望率
  - ラグビー日本代表試合を「スタジアムや競技場で直接観戦したい」が**29.7%**、  
「テレビやインターネットのメディアでの中継で観戦したい」が**57.4%**
  - ラグビートップリーグを「スタジアムや競技場で直接観戦したい」が**14.5%**、  
「テレビやインターネットのメディアでの中継で観戦したい」が**23.3%**
- RWC2019日本大会観戦者における、2021年発足予定の新リーグへの期待度
  - 「大いに期待する」が**25.7%**、「ある程度期待する」が**48.8%**
  - 「期待する」の合計は**74.5%**

### ■研究担当者コメント

本調査結果より、ラグビーワールドカップ2019を試合会場やテレビなど、何らかの方法で観戦した者は6割であり、また、観戦した人の8割が今後もラグビーの試合を観戦したいと回答し、新リーグへの期待も高いことが明らかとなった。メガイブメントの国内開催が人々に与えるインパクトは大きく、加えて日本代表の快進撃により、ラグビーに対する人々の関心は確実に高まっていると言える。今後は、ラグビーを気軽に観戦できる環境整備や情報発信、メディアでの試合配信の増加などが求められる。観戦者の詳細や意識の変化については引き続き分析をしていく。

【笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 シニア政策オフィサー 武長理栄】

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 広報担当：竹下、清水

1/11(土)・12日(日)、13日(月) 10:00~16:00は、

090-1607-8781にお問合せください。

14日(火)9時以降は、TEL:03-6229-5300まで [info@ssf.or.jp](mailto:info@ssf.or.jp)

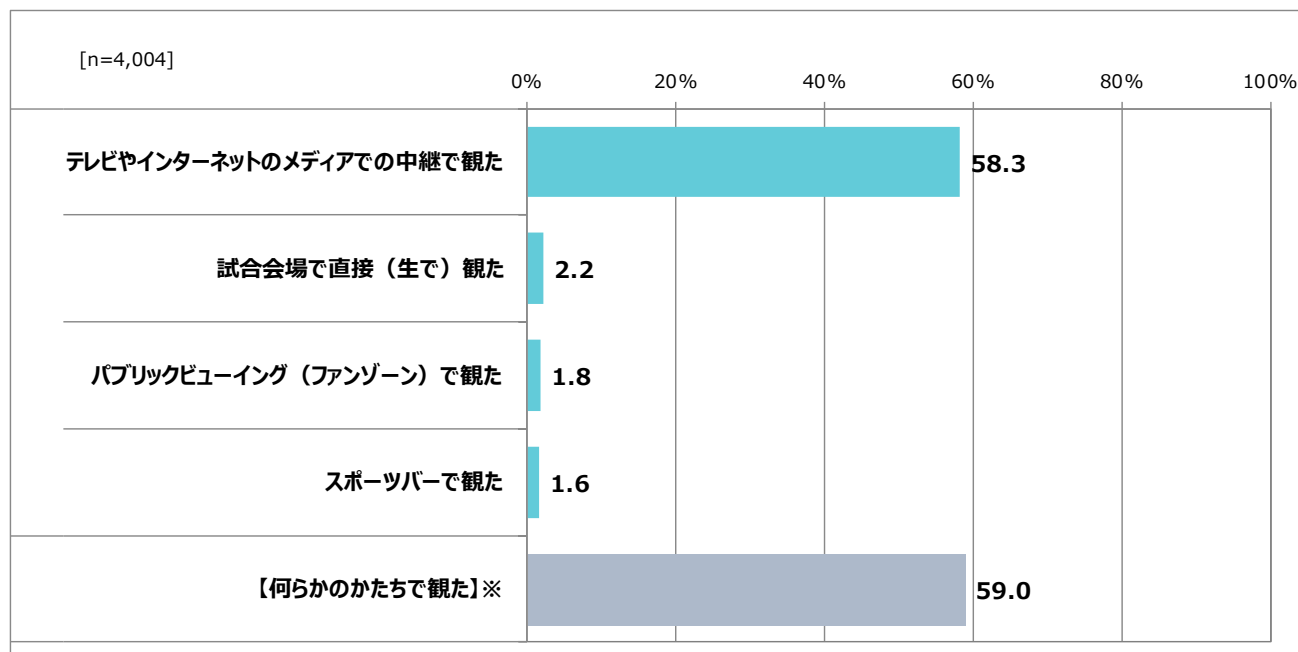
## 【調査結果のポイント】

### 1. ラグビーワールドカップ 2019 日本大会の観戦率

- ・「テレビやインターネットのメディアでの中継で観た」が 58.3%
- ・「試合会場で直接観た」が 2.2%
- ・「(直接・間接を問わず、何らかのかたちで)試合を観た」が約 6 割 (59.0%)

### 図表 1 RWC2019 日本大会の観戦状況

※あなたは、テレビ中継やスタジアムでの観戦など、何らかの方法で【ラグビーワールドカップ 2019 日本大会】の試合を観ましたか。  
(複数選択可)



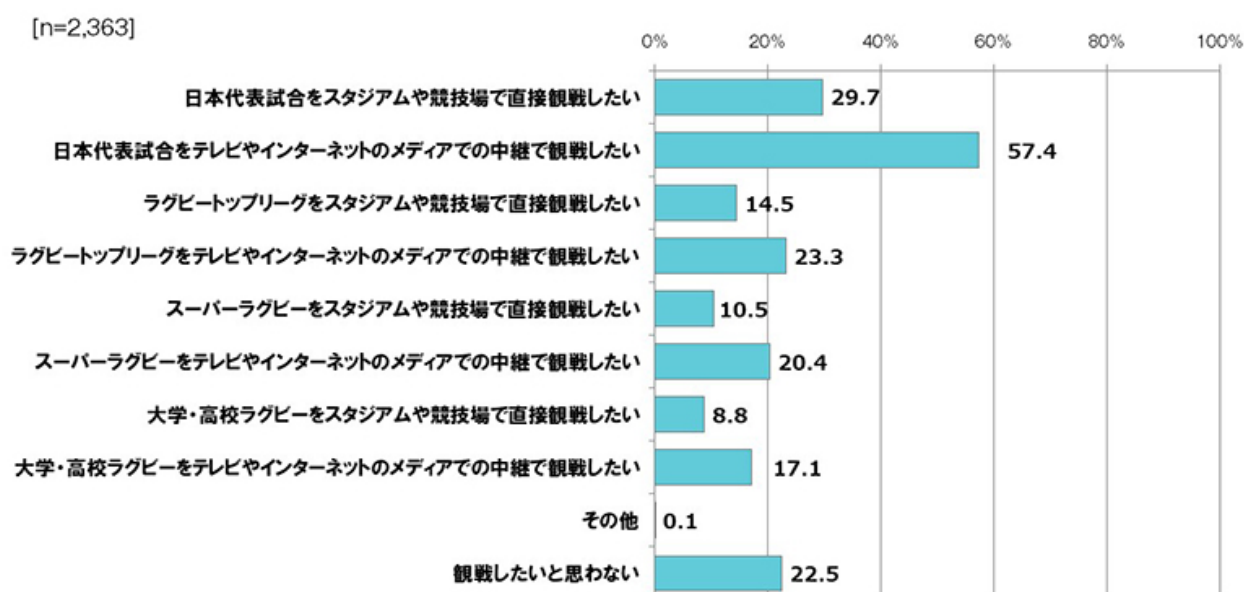
※【試合会場・パブリックビューイング・スポーツバーいずれかで観た計】 試合会場・パブリックビューイング・スポーツバーいずれかで観たスコア

## 2. RWC2019 日本大会観戦者における、今後のラグビー試合の観戦希望率

- ・ラグビー日本代表試合を「スタジアムや競技場で直接観戦したい」が 29.7%、  
「テレビやインターネットのメディアでの中継で観戦したい」が 57.4%
- ・ラグビートップリーグを「スタジアムや競技場で直接観戦したい」が 14.5%、  
「テレビやインターネットのメディアでの中継で観戦したい」が 23.3%

**図表 2 RWC2019 日本大会観戦者における、今後のラグビー観戦希望**

※あなたは今後、テレビ中継やスタジアムでの観戦など、何らかの方法で国内で行われているラグビーの試合を観たいと思いますか。(複数選択可)



### 【参考】

RWC2019 日本大会観戦者における、RWC2019 開幕（2019年9月20日）以前の過去1年間のラグビー観戦状況（直接・間接）

(n=2363)

	競技場やグラウンドなどで直接観戦 (%)	テレビやスマートフォンで観戦 (%)
ラグビー日本代表試合	1.7	14.0
スーパーラグビー	0.7	4.3
ジャパンラグビートップリーグ	1.6	5.6
高校・大学ラグビー	2.6	10.3

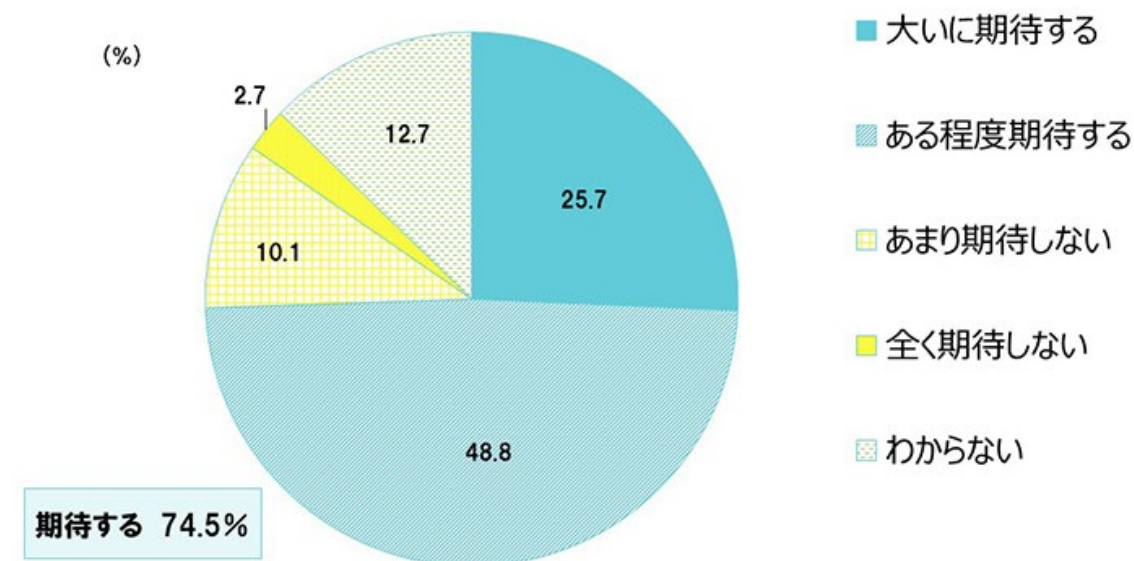
### 3. ラグビーワールドカップ 2019 日本大会観戦者の新リーグへの期待度

- ・「大いに期待する」が 25.7%、「ある程度期待する」が 48.8%
- ・「期待する」の合計は 74.5%

**図表 3 RWC2019 日本大会観戦者の新リーグへの期待**

※日本ラグビー協会は、代表チームの強化など今後の日本ラグビーの発展のため、現在のトップリーグ(TL)に代わる新たなリーグを 2021 年秋に発足する方針を決定しました。あなたは、この新リーグについてどのようにお考えですか。(1つ選択)

[n=2,363]



#### ■調査概要

**調査目的**：ラグビーワールドカップ 2019 日本大会における人々の観戦行動の実態やラグビーへの意識の変化、ニーズなどを把握し、メガイブントを契機とした国内スポーツの活性化を図るための基礎資料とする。類似するメガイブントの影響を比較検討する基盤となるとともに、今後、国内外で開催される同種のメガイブントの継続的な調査が必須となる。

**調査方法**：インターネット調査

**調査対象**：全国の市区町村に在住する 18～79 歳までの男女 4000 人  
(4,000 サンプルが地区・都市規模別の性別・年代別人口構成比率に近似するよう割当)

**調査期間**：2019 年 12 月 28 日 (土)～2020 年 1 月 5 日 (日)

**主な調査項目**：ラグビーワールドカップ 2019 日本大会の直接観戦、テレビ等での観戦、観戦した理由・きっかけ、スポーツ観戦経験、今後のトップリーグの観戦希望、過去 1 年間のスポーツ実施状況、印象に残った選手 他